

日本学術会議フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会
持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会
ESD/SDGs カリキュラム小委員会(第 25 期第 1 回)小委員会
議事要旨

日時:2021 年 7 月 12 日(月)15~16 時

会場:オンライン開催(Zoom)

出席者:小金澤孝昭、鈴木克徳、氷見山幸夫、市瀬智紀、小林亮、及川幸彦、
小田宏信、薦田有紀子(事務局)

自己紹介

議題

1) 役員の選出等(委員長、副委員長、幹事 2 名)

- ・小金澤委員長、鈴木副委員長、小林幹事、小田幹事に決定。
- ・議事要旨(案)は原則として幹事が作成、会議出席者全員が確認の後委員長の判断で要旨を確定し、事務局へ提出することになった。

2) 今期の進め方

- ・小金澤:前期のように、シンポジウムを開催し、その成果を「学術の動向」の特集にまとめていきたい。そのために小委員会で研究会を開催し、研究成果を発表していく。その際、現在の小委員会委員の他に、中学・高校の先生や教育委員会などの現場での実践者で実践報告ができ、小委員会委員を 4~5 名追加したい(4~5名)ので、新たに委員になっていただける方を各位からご推薦いただきたい。
- ・氷見山:この前の分科会の議事要旨では、シンポは年 1 回(時期未定)分科会主導で学術フォーラムを目指す(来年 6 月を想定)。年 1 回シンポジウム開催予定。小委員会でワークショップ。9 月 12 日(日)15~17 時と 12 月に親分科会を開催予定。12 月の分科会は、公開シンポジウム形式で小委員会の成果発表を実施したい。その成果を踏まえ、来年の 6 月くらいに学術フォーラムの開催を目指す。それに先立ち、10 月に小委員会の成果発表(非公式勉強会)を行ってほしい。
- ・小金澤:12 月の分科会時のシンポジウムに小委員会から発表できるように、小委員会の非公式勉強会(オンラインセミナー)を 12 月までに 2 回ほど開催して、発表内容の柱を作りたい。その際に発表でき、小委員会の委員にも推薦できる方をどなたか推薦いただきたい。及川先生が学校や教育委員会と組んで成果を上げているの

で、そういった方を想定している。

・質疑応答

及川:10月の非公式勉強会での講演は、小委員会の委員となることを前提としてお願いする必要があるか。あるいは単なる話題提供者としてでよいか。

小金澤:前者でお願いしたい。まずもって推薦してほしいのは、のちのち小委員会で1~2年かけてカリキュラムを作っていくうえで核になられる方を探していただきたい。

及川:承知した。二重の推薦の意味ですね。10月もだが、12月は土日すでに予定が埋まりつつある。12月の公開シンポジウムはフォーマルなものか。

小金澤:そのとおり。勉強会やシンポジウムでは、新しく推薦された人だけでなく、現在の7人の中からも発表を予定。新しく推薦する方は9月中旬までに、小金澤、事務局に連絡してください。

事務局:公開シンポジウム開催は親委員会の承認を経た上で幹事会承認が必要となるため、9月中にはシンポジウムの企画案を提出いただきたい。

小林:シンポジウムの基調テーマは？

小金澤:ESD/SDGs カリキュラム開発をどう開発するかという課題があるので、食糧問題、探究的な学習の評価の問題どうやっているか、どういう実践やってるかといったことについてお話いただきたい。ESD/SDGsは学際的で広い。環境問題に限らず、人権問題、国際問題なども可能。

3)その他

・事務局・小委員会委員の間でメールアドレスを共有することについて承認した。

・次回について(10月頃)

・非公式勉強会は定足数(委員の半数以上)を満たすことが見込まれ、開催前に事務局において開催通知の発出手続を完了することで、小委員会として記録を残した形で開催可能であること、開催通知には日時・議題を記載する必要があるため、事務局に早めに連絡しておく必要があることを確認した。(オブザーバーの参加は、事前に連絡が必要。)

以上